



No.158

1988 Feb.

ひとりでじゃ
ないよ

ほ し く ず

井無田観測会特集号



☆ここは井無田原、星空がすごい！！



肉眼で見たぞ！！

ブラッドフィールド彗星

天文台ができてからしばらく途絶えていた、観測会がここ井無田高原で何年かぶりに行われました。

11月22日、晴れわたったお天気のもと、会員20余名が清和村へ車でむかいました。はたして、井無田での夜空はそれは素晴らしいものでした。

折しも観測好機となっていたブラッド彗星は肉眼でも見えて、ハレー彗星以来の肉眼彗星として会員を楽しませてくれました。

やがて西の空から雲がせまってきた。たちまち空を覆ってしまいましたが、これはしめたとばかりに、こんどは井無田公民館に場所を変えて夜中遅くまで大騒ぎしてしまいました。

翌朝、雨の上がったのを見計らって、近くのキャンプ場で「宝探しゲーム」、高森町の地鶏で舌づつみをうったあと、永井聡さんの高森天文台見学と続き、皆さん満足のいった観測会となりました。

井無田観測会参加者

宮本幸男	小林寿郎	立川正之	石原恵子
仲山芳史	北川忠雄	艶島敬昭	安達智子
堀田守男	石原薫	渡辺知史	新村史明
古川英男	芳野浩之	吉田健二	永原博英
福岡昭彦	花草清孝	西本猛	原田郁子
片野坂重浩	山本重信さんとその家族		
高田祐一	松崎達二	中山久子	浅地伸威



(2) 表紙の写真の内幕、実は双眼鏡かかっていた！！

GX3200は暗い空で、お使い下さい。

艶島 敬昭

「3200が出たので先日から自宅屋上でテスト撮影をやった。城南町の空では標準レンズ(F2程度)2分から3分が限度であった。3分露出では、バッグのかぶりが気になりコントラストの低下が目だった。それで3200の高感度はむしろ使いにくいと思っていた。

ところが井無田で撮影したブラッドフィールド彗星の写真が出来上がって、その夜空の黒さに驚いた。

露出は3分半だったが、これなら5分露出してもカブリはほとんど気にならないだろうと思えた。

シマッタ!もっと露出をかけておくんだっ!!

艶島さんと
愛器MT-130



宮本先生と12.5ライトシュミット



新婚木々木なのに
奥さんを置いてけぼりにして、
井無田へ馬也々参じた
西本猛さん

☆井無田公民館は大荒れ



うるさい
人間どもたニナ



松崎!
もんかんばらんはー



松崎 VS 永原
アムレスリング



天文家か3人よれば。
望遠鏡意談議に花か咲く。



後片付い

くろさん



二人は大の仲良し

山本さんの息子さん



神戸から
かけつけた堀田さん

突撃インタビュー
小林寿郎、手動ガイドでブラッドフィールド彗星を撮影

A: 小林寿郎さんは今回、手動ガイドでブラッドフィールド・彗星を撮られたと聞きましたが、写真の出来ばえはいかがでしたか?

J: 手動ガイドはバッチシ。(さも満足そうに) やっぱり魂がこもっている写真はキレイですね。

A: えーえーそれでは、写真をうまく撮るための心がマニというか、コツみたいなのがあったら教えて下さい。

J: (いつもの様にいばって) それは3つあります。ひとつは、熱意です。

A: ははー、熱意ですか・・・

横から髭島さんが「それは、別の言い方では執念とも言います。」

J: (ここでもいばって) ふたつめは、創意の工夫です。

A: (メモをとりながら) ソウイノ、クフウっと

J: (くどいようだが、ここでもいばって) みつつめは・・・

A: みつつめは・・・

J: 教えてやんなーい

A: アラッ・・・是非教えてください・・・

J: わしが死んだら墓標に彫ってあげるから、その時教えてあげる・・・

A: じゃ当分無理ですね

横から新村さんが

「そうだなー西暦2063年まで無理だなー」

A: 新村さん、どうして2063年まで寿郎さんが生きているんですか?

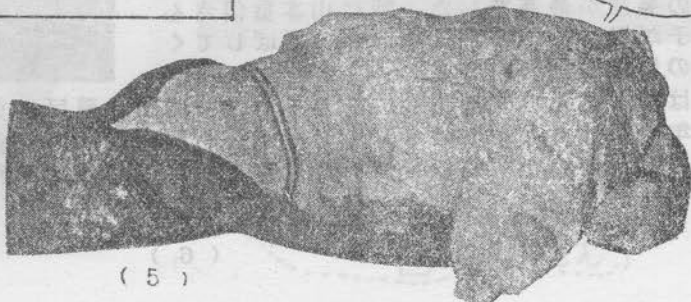
新村 「次のハレー彗星の回帰の年だよ!!」

いつも天文台ではこんなバカ話ばかりやっています。



ほめろかうまい立川さん

ふいふ
もう寝るぞ



☆ 高森天文台訪問



ドームの前で
はいチーズ

おまけ. 観測会の参加車



ベリーぐっど

ところで...
今年の観望会は
どんな具合にやるんですか?

それはまだ
ヒ・ミツ

Y. Miyamoto

夕闇もせまった西の空高く、ハレー氏に弟
さんがいたのか? と想えるような、come
t Bradfieldが見えていました。

ここは、井無田原。銀河は溢れんばかりで
す。写真を撮り終えると、旨い具合に西の
地平にはわきあがる雲。さあ! 一杯飲めるぞ!

「水炊き」のお味も結構だし、何よりも皆
さんの笑顔が最高でした。特に山本重信さん
の息子が堀田氏他の大人を大いに喜ばしてく
れたのには感謝感激です。

昔は時折こんな”星見会”をしていましたが、県民天文台でも毎年やりたいですね。

今年の夏は、ペルセの8月12日が旨い具合に朔ですから、「星に願いを!」と大観
望会を考えたいですね。今回のお世話を下さった芳野、福岡の両氏に感謝します。



★ 第2回メシエマラソン参加者募集 ★

私たち熊大天文研究会の星雲星団課では3月19日に、熊本県民天文台にてメシエマラソンを開催します。そこで一般の会員の方々の参加者を募集します。一晩にメシエ天体108個を全部見てしまおうというメシエマラソンは「天体観測のル・マン24時間耐久レース」と異名をとるとおり、強靱な体力と知力を必要とします。

今回はできるだけ多くの人に参加して頂きたいと思います。自分の望遠鏡で挑戦なさる方も大歓迎です。ちなみに2月18日前後にメシエマラソンの予行演習として「メシエジョギング」なるものを開きますのでこちらのほうもぜひ参加してください。

連絡方法は

天文台 096428-6060 (晴天の夜)
新村宅 096-345-1679 (曇天の夜)

は次 ときどきM天体



★ 迷子のフィルムのお知らせ

昨年の12月、博物館に小西六からGX-3200とGX-400の2本のフィルムが送られてきました。どうやら、天文雑誌に誰かの天体写真が掲載されたいのようですが、誰だか分かりません。封筒には県民天文台宛となっていました。

現在、この身寄りのないフィルムは天文台の奥の冷蔵庫に保管されています。おこころあたりのある方は、どうぞ申し出て下さい。

★ 新年会 天文台-艶島宅ナイトハイキング

年の始めの恒例行事、新年会がまたいつもどうりおでんの鍋を囲んでとりおこなわれました。総勢18名集まりました。

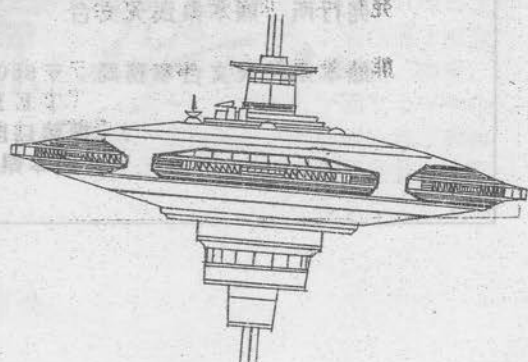
この日、艶島氏が風邪で来れないと聞いて「えっえー!!」とみんな一様に驚きながらも、艶島家の番犬の面白いエピソードを安達さんが披露すると、そこはメンバー思いのうちの会員、副台長が倒れたとあってはのんきにおでんなんかつついておられようか、「よし、じゃその犬をからかいに・・・じゃなかった、艶島さんのお見舞いにいこう!!」と立川さん、有志10名ばかり募って、すぐ下の艶島氏のお宅に歩いて行ったのでした。

★ 浅地君のおことわり

浅地君が編集長になった昨年の11月号の星屑の表紙、「これは一体何の絵だろうか?」という問い合わせが殺到しました。そこで、今回浅地君から直に表紙の絵の説明をやって貰います。



なんでわかってくれないんだ



3月7日ごろ 金星と木星が大接近

夕方空、-4.2等の金星と-2.1等の木星が2.4度まで近付きます。カメラをお持ちの方は、地上の風景と一緒に写真を撮られたらいかがでしょうか？

3月18日 部分日食

部分食の始め 9時53分頃

部分食の最大 11時6分頃 62%

部分食の終り 12時19分頃

熊本では60%ほど欠けます。天文台では特別何もみませんが、この日、暇な人は熊本市博物館に出かけてみるのもいいでしょう。常設してあるシデオ・スタットで直径60cmの太陽像が欠けていくのがはっきりと分かります。

ところで、皆既食のコロナを見ようと熊本からも何名か小笠原海上に出かけます。美しいコロナの写真はそちらの人に任せておきましょう。(船の上では無理かな?)

3月22日 20時-22時にかけて すばる食
月齢4.4の細い月がプレアデス星団の北側を横切ります。

最後の編集後記

11月にあった観測会がなぜ2月号になったのか？単なる私の怠慢ですけど、どうも遅れてすみませんとは言いたくありません。大抵、この欄は編集者が遅れたお詫びを書き綴っているのですが、そんなのもう読みたくもないでしょう。ねえ皆さん。

さて、これが私が担当する星屑の最後となりました。一昨年の11月号からずーっとやってきました。自分が作った星屑を読み返してみるとそれぞれに自分の思い入れが見つかり、2年も経っていないのにえらく懐かしいものです。編集をやっていて何よりも面白かったのは、85年11月号の編集後記にも書いていますが、この仕事を通していろんな社会人の方とお知合いになれたことです。大抵、こちらからの無理やり押しかけ取材でしたが、皆さん快く引き受けてくださいました。そろそろ、この辺りで後は後輩に頑張ってもらって、私はまた別なことにチャレンジしてみたいと思います。それでは、皆さんさようなら(とかなんとか言っというて、またいつのまにか編集後記を書いていたりして・・・)



熊本県民天文台機関誌「星屑」 1988年2月号 通巻158号

発行所 熊本県民天文台 〒861-42 熊本県下益城郡城南町藤山

TEL 0964-28-6060

熊本県民天文台事務局 〒860 熊本市古京町3番2号 熊本市博物館内

TEL 096-324-3500

振替口座 熊本8-24463

熊本県民天文台事務局

編集担当 高田祐一